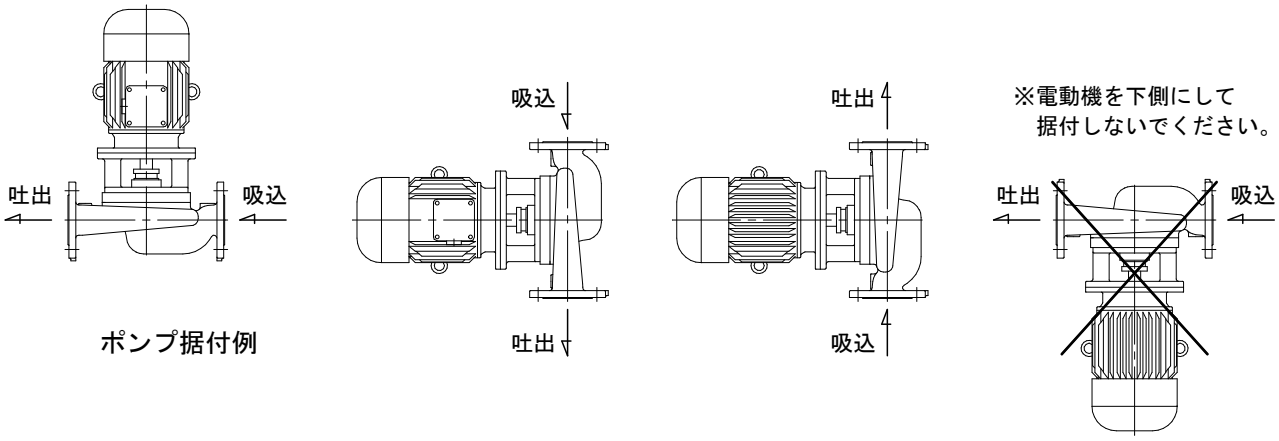
ＵＬＳ型　ポンプ据付／分解・組立

●この説明書はＵＬＳ型の分解・組立方法について述べたものです。
　他の操作方法等につきましては取扱説明書の本編に従ってください。
●この説明書はポンプを実際にご使用になる方のお手元に、本編と一緒に必ず届くようにお取り計らいください。
●この説明書はいつでもご覧になれるところに本編と一緒に保管してください。

ポンプの据付

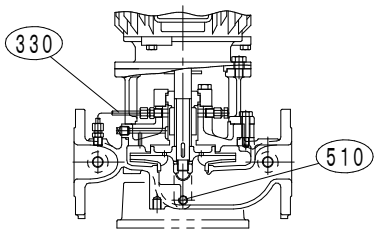
⚠ 注意
●ＵＬＳ型の場合、電動機は上または横置きに設置してください。
※絶対に電動機を下側にして設置しないでください。
電動機を下側にすると、わずかな水漏れで電動機内に水が入り、事故を起こすことがあります。



ポンプ据付例

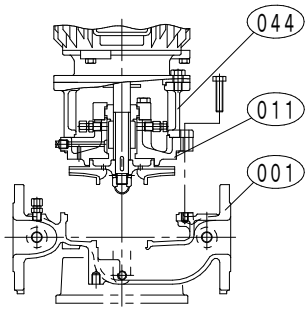
ポンプの分解

※ このポンプは配管から外す事なく分解ができますが、必要な場合は吸込フランジ・吐出しフランジ取付ボルトを抜いてケーシングを配管から外してください。

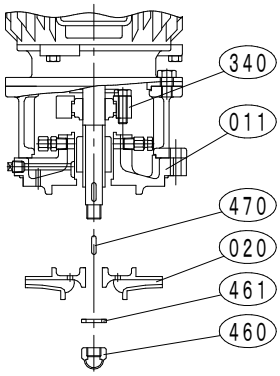


① 吸込・吐出し側の仕切り弁を閉じ、（５１０）ドレン抜きプラグを取外しポンプ内液を排出してください。

② ポンプ回りの小配管（外部注水管等）を取外してください。
（メカニカルシール式の場合は（３３０）ＳＦパイプを取外してください。）



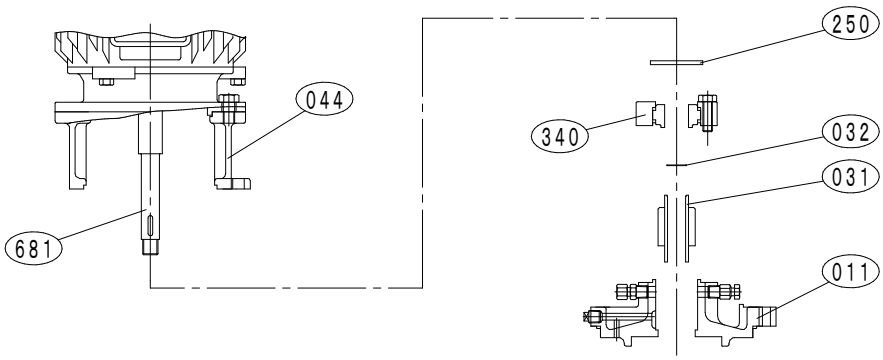
③ （００１）ケーシングと（０１１）ケーシングカバー・（０４４）モーター台を止めているボルトを外し、（００１）ケーシングから（０１１）ケーシングカバーをモーターごと取外します。（モーターのアイボルトを利用すると便利です。）
この状態でポンプ内部は点検できます。摩耗や異常をご点検ください。



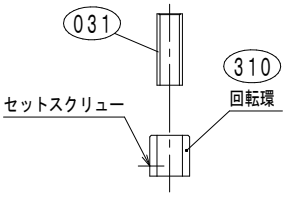
④ （４６０）羽根車ナット・（４６１）回り止めを取り、（０２０）羽根車を抜き、（４７０）羽根車キーを取ります。
（モーター軸後部軸端に溝がありますのでマイナスドライバー等を利用してください。）

※１．メカニカルシール式について
●メカニカルシールの詳細図は『Ｐ１１．メカニカルシールの取替え』を参照ください。
（０１１）ケーシングカバーから（３４０）メカカバーを外してください。

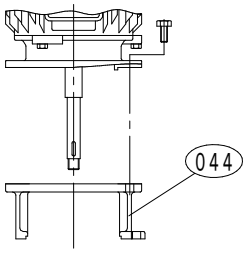
⑤ （０１１）ケーシングカバーを（０４４）モーター台から外し、
（０３１）スリーブ・（０３２）スリーブパッキン・（３４０）メカカバー・
（２５０）水切りつばを（６８１）モーター軸から抜きとります。



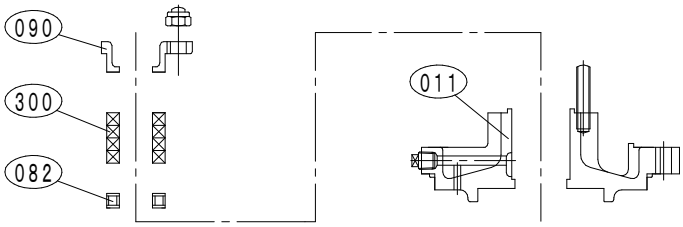
※メカニカルシール式の場合はセットスクリューを緩め、
（３１０）メカニカルシール回転環を（０３１）スリーブから抜きます。



⑥ （０４４）モーター台をモーターから外します。



※２．グランドパッキン式について
（０１１）ケーシングカバーから（０９０）パッキン押さえを外し、
中の（３００）グランドパッキン及び（０８２）封水リングを取り出します。



ポンプの組立

再組立は分解の逆の手順で行えばできますが、次の点に注意してください。

（1）各パッキン類は新品と取り換えてください。

（2）各部品にて摩耗しているもの、損傷しているものは取り換えてください。

（3）各部品にて内部が汚れなどで詰まっているものは清掃してから使用してください。

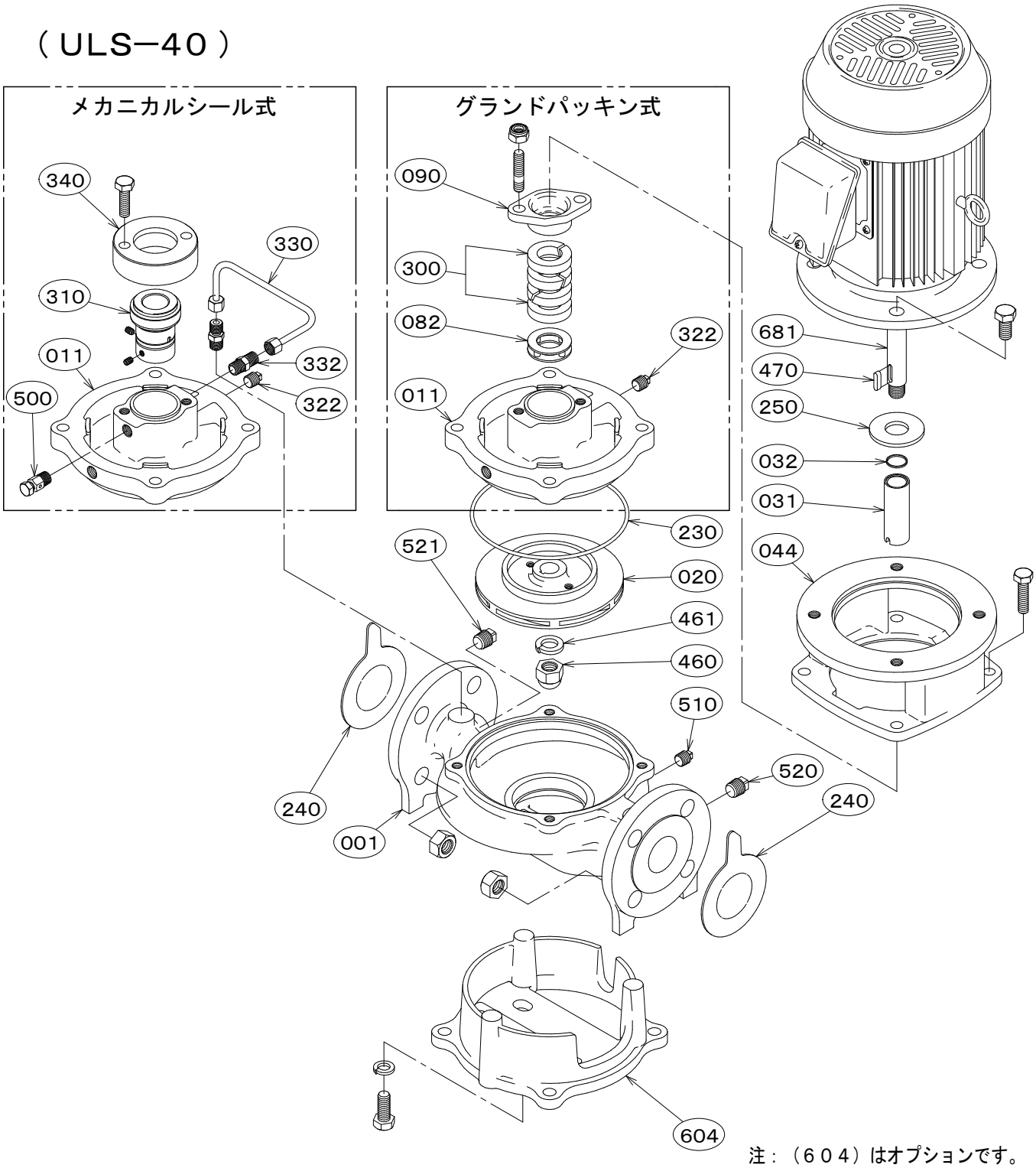
⚠ 注意

●メカニカルシール式の場合運転前に（５００）空気抜き弁より必ず空気抜きを行ってください。
空気抜きを行わないとメカニカルシールを破損します。
●グランドパッキン式からメカニカルシール式に変更する場合は必ず（５００）空気抜き弁及び（３３０）ＳＦパイプを取付けてください。
メカニカルシール破損の原因になります。
●（３３０）ＳＦパイプをむやみに引っ張ったり、傷つけたりしないでください。
また以下の使用条件以外で使用しないでください。
※ 使 用 圧 力　１２ｋｇ/ｃｍ^2 以下
※ 液　　温　８０℃以下
パイプの破損やそれによるポンプ内液の飛散の原因になります。

分解図

※本図は代表を示すものであり、機種・口径により本図と多少異なるものもあります。

（ULS−40）



注：（６０４）はオプションです。

番号	部品名	番号	部品名	番号	部品名
001	ケーシング	240	フランジパッキン	461	回り止め
011	ケーシングカバー	250	水切りつば	470	羽根車キー
020	羽根車（クローズ）	300	グランドパッキン	500	空気抜き弁
031	スリーブ	310	メカニカルシール	510	ドレン抜きプラグ
032	スリーブパッキン	322	封水プラグ	520	連成計プラグ
044	モーター台	330	ＳＦパイプ	521	圧力計プラグ
082	封水リング	332	ＳＦジョイント	(604)	ポンプ台
090	パッキン押さえ	340	メカカバー	681	モーター軸
230	カバーパッキン	460	羽根車ナット		